

- 4年生算数に課題があった要因として、例えば、低学年からの指導において、キーワードで判断し式化するなど、型にはめてしまっていることなどが考えられ、実際に図や絵に表すなど、丁寧に問題を把握させる授業が大切である。
- 誤答分析を基にした授業改善の手立てを学校に対して手厚く支援した方がよい。
- 授業評価は、児童生徒の「やる気」を引き出す一つの方策になる。
- 特別活動を含む全ての教育活動で、子どもたちの承認欲求を満たす支援をしていく必要があり、また、地域が見守っているという視線を送り、寄り添うことが大切である。
- 自己決定の場を与え、自己存在感を持たせ、共感的な人間関係を育むことは、社会でも重要であり、タイミングをみながら「まっとうに叱る」、「照れずに褒める」ことが大切である。